

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和 4年 9月20日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県守山市横江町268番地

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
株式会社栄工業  
代表取締役 木浦晋一

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項  
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社栄工業 代表取締役 木浦 晋一
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県守山市横江町268番地

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社栄工業 本社工場								
事業所の所在地	滋賀県守山市横江町268番地								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	4	5	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 金属プレス製品製造業(アルミニウム・同合金を除く)			
事業の概要	精密板金加工・プレス部品加工								
従業員の数	48	人	操業時間	8時間45分 (8:30~17:15)	時間/日				
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	10	台	照明設備	220	台
	コンプレッサ	2	台	空気調和設備	62	台	その他	2台(給湯器)	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和4	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	令和8	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

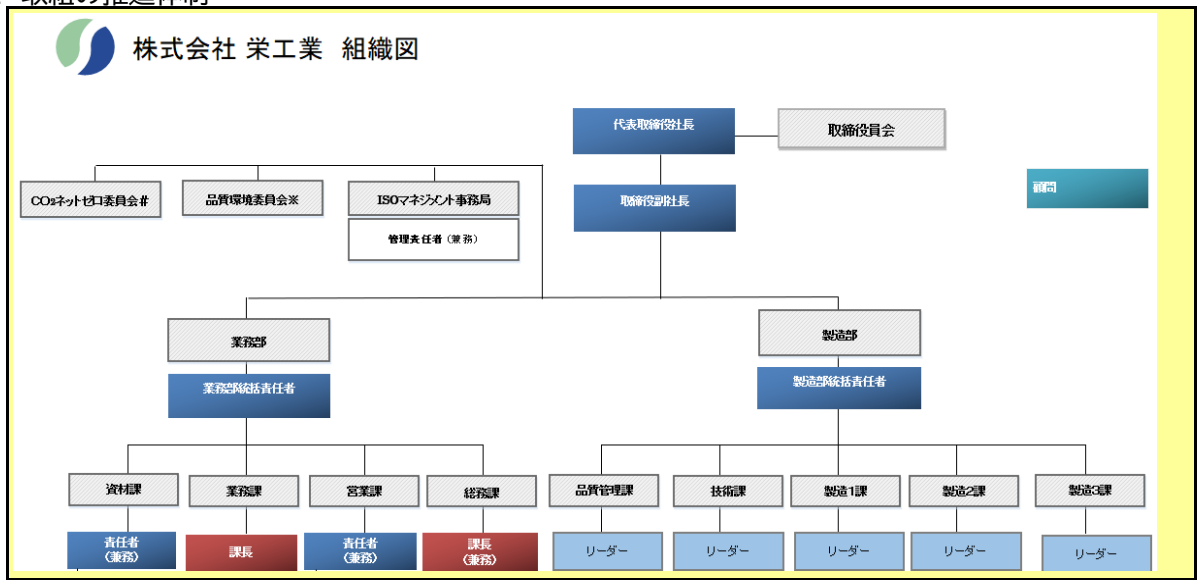
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

**■環境理念**  
 株式会社栄工業は、地球にやさしく環境に配慮した企業を目指します。  
 環境管理の実現と環境意識の向上を目指し地球環境保全活動を推進します。

**■環境方針**  
 株式会社栄工業は金属加工などの精密機械部品加工製造の事業活動において、  
 環境に与える影響を考慮し環境改善と保全活動を推進する。  
 「人にやさしく、環境にやさしく」をテーマに環境に配慮した事業活動を行う。  
 <省エネルギー> <廃棄物削減> <不良品削減> 3つのキーワードについて、  
 環境目的・目標を設定、それらを達成するためのPDCAを実施し環境管理活動で明確にする。  
 琵琶湖周辺に立地してある事を認識し、自然・環境に配慮して地域との連携・調和を図る。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

平成27年の本社工場の竣工時に省エネルギー対策のため下記内容の設備投資を行いました。

- ①工場内にLED照明を導入し、廊下等にセンサー式照明など省エネ対策を実施しました。  
設計段階より責任者が関与し工場内の動線なども見直し、エネルギー効率が改善しました。
- ②フォークリフト3台をEV車に切替えしました。
- ③新型の機械設備として、ファイバーレーザー加工機3台、ファイバーレーザー溶接ロボット2台を導入したため、消費電力を従来のレーザー加工機の3分の1にまで削減できました。
- ④省エネ型のコンプレッサーを導入しました。

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	太陽光発電(自家消費型)の導入により温室効果ガスを削減	令和4~6年	
2	運用改善	空調サーキュレータによる省エネ	令和4~6年	
3	設備導入	EV/PHEV車と充電スタンド導入による燃料削減	令和4~6年	
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		該当なし		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組等により、令和2年度を基準年度として、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位 「 <u>                    </u> 温室効果ガス排出量 / <u>                    </u> 売上高 で毎年7.4%削減し、令和12年に基準年度より50%の削減を実施する。</p> <p>原単位の考え方は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの排出量は生産量の増減に左右されるため、原単位指標(分母)を売上高に設定。</li> <li>・上記取組みによる削減効果を評価するため</li> </ul> <p>・<b>基準年度の原単位:13.5</b></p>	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	143					
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	224	0	0	0	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	224					
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>	0					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>	0					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>	0					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0					
エネルギー等原単位の推移(温室効果ガス排出量/売上)		12.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	本社工場屋根への太陽光発電設備の設置	R4年～R6年	
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	令和5年～令和6年にかけて再エネ導入を行うべく検討を進める。自社で使用する電力の約50%以上を再エネ電力で賄うべく設備導入及びエネルギー効率的な使用を進める。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	なし					
上記のうち自家消費量	kWh	なし					

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	219					
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.351					
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
グリーン証書の購入	t-CO <sub>2</sub>	なし					
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>	なし					
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	物流の合理化	同一地域の取引先への納品時期をまとめること で、輸送回数を減らす。	令和4年～	
2	出張の合理化	出張時期をまとめて行い複数の取引先へ訪問 をする。新規開拓もエリア単位での開拓を行 う。	令和4年～	
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	保有車輛の数	台	6					
	上記のうち 次世代自動車の数	台	4					
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	エアキャップ(緩衝材)、ダンボールのリサイクル。令 和5年4月までに梱包補材30%削減する。	R4年～	
2	3R	加工時の鉄粉のリサイクル(カイロ)	R4年～	
3	3R	ペーパーレス化(給与明細、年末調整)による紙の使 用量の削減	R4年～	
4	SBT	中小企業版SBTの認証取得を目指す。	R4年～	
5	環境マネジメン トシステム(EM S)	働き方改革 時間外労働の見直し(時間外平均40 時間/月)により業務の効率化を行う。	R4年～	